

連載 第28回『試聴室探訪記』  
～谷口とものり、魅惑のパノラマ写真の世界～  
川崎邸 癒しのオーディオ「おいで～オーディオ」訪問  
フォトグラファー 谷口 とものり・編集委員 森 芳久



今回は千葉県にお住まいの川崎博愛氏の試聴室に伺いました。川崎氏は大手電気メーカーで長年にわたりオーディオのマーケティングや営業を担当し、その豊富な知識と経験は業界では「知る人ぞ知る」の有名人です。定年後も請われて営業や後輩の指導などの仕事を続けて来られました。

趣味もまたオーディオですが「50年生業としてきたオーディオの魅力をもっと広く人に知ってほしい」との思いから、今年6月より自宅の一室を親しい方達に開放するという面白い試みを始められました。その名も「おいで～オーディオ」。上から読んでも下から読んでも「オーディオオーディオ」、彼のユーモアセンスがその名前にも表れています。そういえば、行って戻ってオーディオに終りはないという意味にも取れます。

その部屋は懐かしい昔の和室の面影をそのままに、最小限のオーディオ装置が並べられています。とはいえ、メインスピーカーにはSONYの幻の名機コンデンサー型スピーカーSS-R10が設置され、中央に設置したプリメインアンプSONY TA-DR1で駆動し、プログラムソースとしては中央にハードディスクプレーヤーSONY NAC-HD1、同じくSA-CDプレーヤーSONY SCD-DR1、右手にはオープンテープデッキSONY TC-8750-2とアナログレコードプレーヤーJVC JL-B1000Gなどハイエンド機器が並んでいます。ここでは全てのプログラムソフトが聴ける環境となっているのです。

それらの名機が奏でる音はまさに川崎氏の世界です。その控えめな音量ながら音楽で全身が包まれるような体感を覚えました。それは紛れもなくこの部屋の主人の音です。クラシックはもち

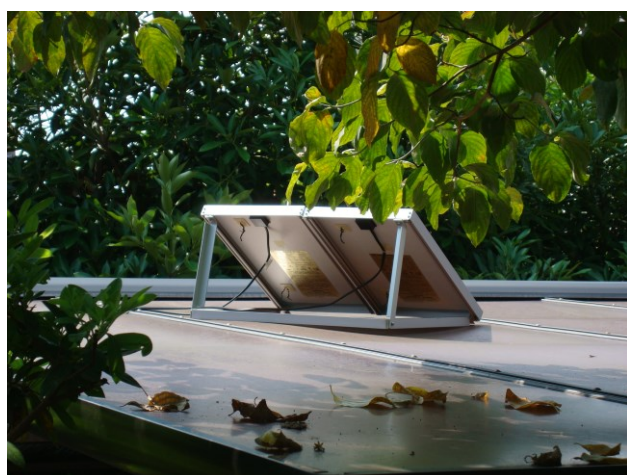
ろん演歌を聴いてもその不思議な心地よさに癒されます。まさにここは癒しの空間に身を置いたような錯覚に捉われました。映像でお分かりのように正面左上には神棚が祀られています。オーディオと神棚、部屋に通されたときはそのコントラストに違和感がありました。しかしそこで音楽を聴いているうちに何となく腑に落ちました。

そしてもっと驚いたことは、コンデンサースピーカーの前に置かれた小型スピーカーELAC BS-72をOlsasonicのナノコンポシリーズのCDトランスポートNANO CD-1と、同じくDAC内蔵プリメインアンプNANO UA1aで鳴らしたときの音でした。川崎氏が敢えて音量を抑えて室内楽を演奏してくれましたが、そこには主人の人柄が滲み出るような清楚なたたずまい浮かび上がったのです。あまりにもその静寂感というかS/N感が素晴らしいので、何か川崎流のマジックがあるのか訊ねました。もちろん部屋のセッティングや配線などいろいろな工夫があるはずです。例えばELAC BS-72にはさらに上にスーパーツイーターが加えられていました。確かにそれは高音部をさらにクリアで上品な音にし、また静寂感にも一役かっているのでしょう。これは今某メーカーと協同で開発中の試作品とのことです。

しかし、この静けさの一番の大きな要因は電源部だったのです。氏は昔からオーディオには家庭用電源からではなく、もっとクリーンな電源を求めているいろいろ研究されてきました。今日では太陽光発電の性能が上がっていることから、この太陽光発電でオーディオを楽しむことの試行錯誤を繰り返し、この小型アンプやCDプレーヤーを駆動するには十分な電源を作り上げたのです。確かにこの電源で聴くオーディオの音は、家庭用電源のものとは一線を画すものといえるでしょう。言葉で表現するのは難しいのですが、「機械から再生されているというよりそこで音楽が生まれている」という感じでした。

この「おいで〜オーディオ」は現在お友達や知人、またその口コミなどで広がった方達のみのお憩いの場です。この素晴らしい空間がいつの日か一般オーディオファンにも開放されること、また氏が培った貴重なオーディオノウハウを発表して頂ける機会があればと念じています。

それでは、今回も谷口ともりの魅惑のパノラマの世界をお楽しみください。



ガレージの屋根に取り付けられた小さな太陽光発電素子。これで26W+26WのアンプとCDプレーヤーを駆動する



隣室に置かれた電源装置。太陽光発電素子から送られる電流を蓄電池に蓄え、DC/DC変換でアンプに送る

### パノラマ画像の操作説明

- パノラマ写真は、[ここ](#)か、はじめのページの**画像**をクリックしてご覧ください。  
(ローディングに若干時間がかかる場合があります。)
- マウス操作で、画面を上下・左右 360 度、自在に回転してご覧いただけます。
- 画面下にある操作ボタンで次の操作ができます。
  - + 画面のズームイン
  - 画面のズームアウト
  - ← 画面の左移動
  - 画面の右移動
  - ↑ 画面の上方向への移動
  - ↓ 画面の下方向への移動